

2回目の議会報告会二ヶ所で開催 要望提案など意見交換

7月24日に第2回目の議会報告会が二ヶ所で行なわれ、全議員が二ヶ所に分かれて運営しました。

駅前アルパの会場には9人の参加者。

報告の後の意見交換では、多くの質問・意見・提言が出されました。

職員の退職金や給与は民間と比べて高いとの意見があり、前回にも出されており、数字のやりとりなどありましたが、労働者の賃金は安いほどよいとはならないわけで、生活できる労働者の賃金収入の全体的なレベルアップが必要です。

消費税増税に反対する陳情が上伊那地方では、不採択になったのは駒ヶ根だけだが、理由は駒ヶ根だけの特別なことがあつてのことかどうかの質問に、駒ヶ根だけの特別な理由はない、採決の結果そうだった

だけとの返答でした。



赤穂南小の給食センター厨房機器の取得の**入札の落札率は100%**だったことに対して、それは談合だとの強力な意見があり、議会の取り組みを要請されました。

市議会議員選挙の投票率

の低さが指摘され、原因はどうか考えるかとの問いかけがあり、議会と議員の活動をわかりやすくし、広報の改善や意見交換の場の活用、議員個人の見える活動などやりとりがありました。

市長への手紙とともに議員

への手紙ということをしたかどうか、議員から返事をもらえるようなことを考えてもらいたいとの要望があり、**議会だ**

よりの内容についても、決まったことだけでなく審議した経過と内容をもっと乗せたほうがわかりよいなど、さまざまな意見をいただきました。

今後の議会活動のあり方を議会全体として受け止め、市民の皆さんに期待される議会活動にしなければなりません。

市議会でリニア 山梨実験線視察

7月25日市議会として、リニア実験線を視察しました。

堀内副市長と建設と企画の部課長も参加しました。

山梨県リニア交通局リニア推進課の職員の説明や、鉄道・運輸機構 山梨リニア実験線建設所で説明を受けました。

山梨県のリニア実験線更新・延伸工事では、延長42.8 km、そのうち現在18.4 kmは出来ていて、あと24.4 kmを25年度中に完了予定で、走行試験を再開できるようにする。

8割がトンネルです。山梨県区域は合計90 km

で9割がトンネルになるとのことです。

長大トンネルで大きな問題は残土の処分です。

笛吹市の工事現場と残土処分場を視察。

旧境川村の沢に58万㎡の残土を埋め立てていました。

長野県側もほとんどトンネル区間であり、残土も桁違いの量になり残土の処分だけでも大きな課題となります。

山梨県笛吹市の工事現場



市議会臨時議会

8月2日に臨時市議会があります。

議案は、赤穂中学校体育館改築工事補正予算、1億3192

万円の追加です。

請負契約の締結では23年度からの繰越も含めて3億4125万円。一般競争入札による契約で落札率は95.5%です。

契約の相手方は、石田・丸福久保田特定建設工事共同企業体で代表者は石田建設株式会社です。

6月議会の際の落札率が100%であっただけに透明性、競争性が求められます。

市議会常任委員会 行政視察

市議会の二つの常任委員会では、行政視察を行います。

8月8日から10日までの3日間です。

経費は一人当たり10万円です。

総務産業委員会は、青森県平川市、グリーンツーリズムについて、八戸市では、B級ご当地グルメでまちおこしと、環境・エネルギー産業創造特区についてです。

文教厚生委員会は、福岡県春日市、災害発生時の救助活動、対応と備えについて、由布市リハビリテーション・医療の取り組み、大分市、教育ビジョン第2期基本計画についてです。